

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心児放課後等デイサービス ワンハート		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを固定化しないよう工夫している。	季節感を取り入れた活動や流行を取り入れた活動を行うことで、子どもが『楽しい』と感じられる機会や新しいことにチャレンジする機会を提供している。また、各活動担当を中心に職員間で話し合いながら、チームで活動内容の立案を行っている。	活動の前後に活動プログラムの目標や支援内容、役割分担について確認し、職員間で連携を図りながら支援を行っている。また、社内外の研修や勉強会に参加し、専門知識の向上に努めている。
2	子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができています。	利用時の様子については、保護者向けアプリやSNS等を活用し、その日のうちに保護者へ伝えている。さらに定期的に面談を実施し、家庭や学校、事業所での様子について情報共有を行い、うまくいっている点や課題について話し合いながら共通理解を図っている。そのうえで保護者と共通認識のもと支援計画を作成し、支援を行っている。また、必要に応じて関係機関と連携し、個々の病状や医療的ケア、発達状況等について情報共有を行っている。	多方面からの相談にお応えできるように研修に参加し、専門的な知識を深め、保護者様にアドバイスできるようにしている。また医療機関や学校等の関係機関と連携を図りながら、児童一人ひとりの健康状態や発達状況に応じた支援の充実に努めていく。
3	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。	定期的に面談を実施し、アセスメントを適切に行っている。子どもや保護者とともにニーズや課題の確認を行うとともに、日々の様子や振り返りの記録を基に情報を整理している。個別支援計画の作成にあたっては、職員間でミーティングや支援会議を行い、支援内容について検討している。	個々のニーズについてスタッフがさらに深めていけるよう日々の様子やアセスメントから分析する機会を支援会議にて行う。また専門的な知識を深めていく事ができるよう外内部の研修に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会ができていない。	安全に医療的ケアを実施できる環境の確保が必要であり、周囲の子どもへの理解や感染症対策等にも配慮する必要があることから、地域の子どもの活動する機会の提供を十分に行うことができていない。	日頃から事業所の取り組みを地域に広め、地域交流の機会を検討し、事業所の理解を深めていただけるようにする。また、医療的ケアや感染症対策に配慮しながら安全に実施できる方法を検討していく。
2	父母の会の活動や、保護者会等の開催が行われていない。	就労している保護者が多く、時間の確保が難しいとの意見もあることから、父母の会や保護者会の開催には至っていない。	「保護者会の開催が難しい場合でも、先輩保護者の意見を聞く機会を設けるなど、保護者同士がつながる機会づくりに努めていく。また、保護者やきょうだいが参加できるイベントを土曜日や祝日など参加しやすい曜日に設定することを検討していく。
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていない。	相談事があった場合等にその都度、情報を共有し、アドバイスをさせていただいているがペアレントトレーニングは実施できていない。	保護者が参加できる研修会や情報共有を行っていく。